

ベルギーの犯罪発生状況

2025(令和7)年1月
在ベルギー日本国大使館

目次

1 ベルギーの犯罪発生状況

(1) 周辺諸国等との比較

(2) ベルギーと日本との比較

(3) ベルギー警察について

(4) ベルギー国内及びブリュッセル首都圏
の犯罪認知件数

(5) 注意すべき犯罪:

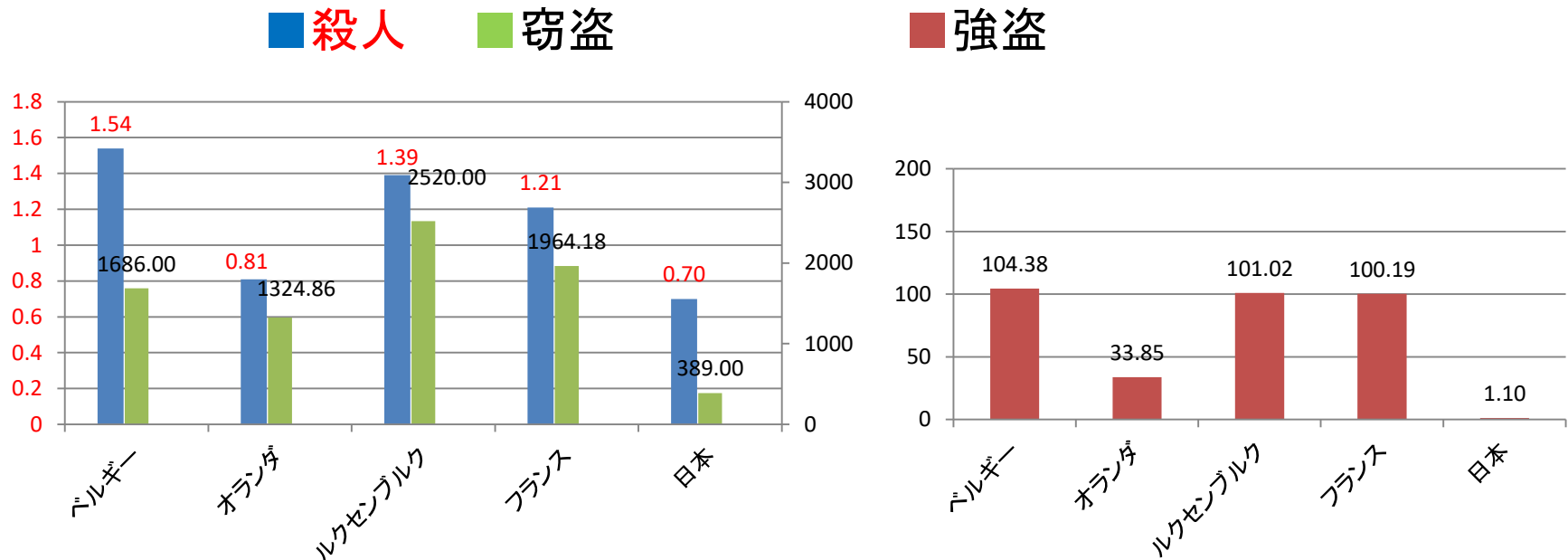
ベルギーでの発生状況(2023年)

2 外出時の注意事項

3 ベルギーにおけるテロ警戒レベル

周辺諸国等との比較

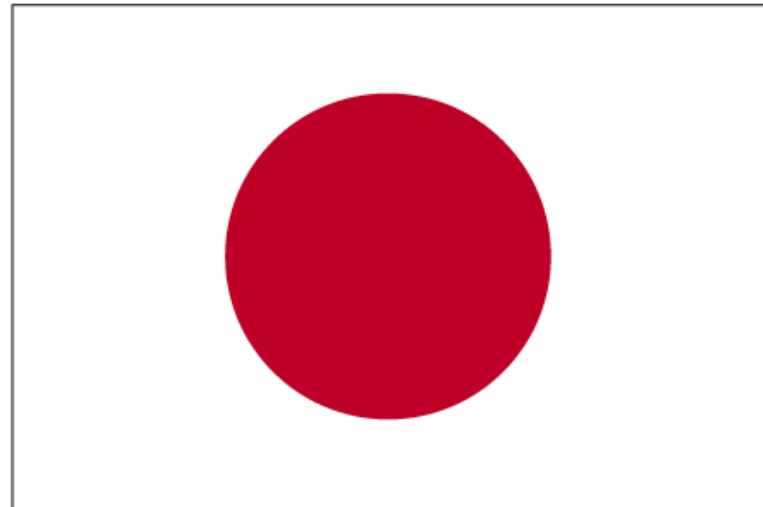
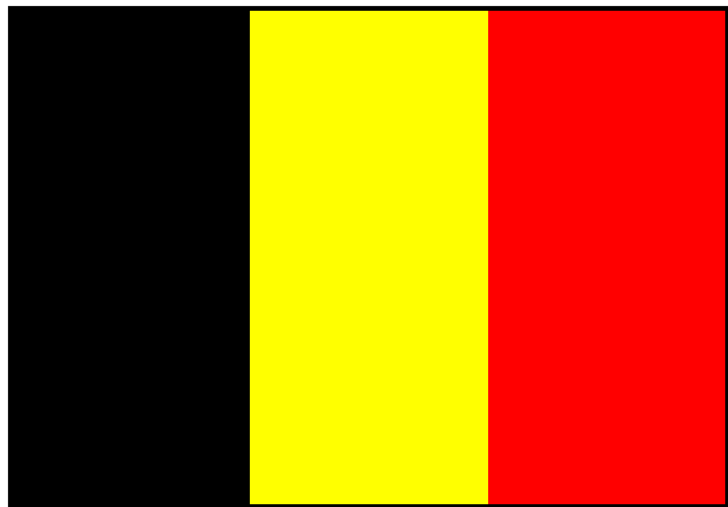
ベルギー周辺諸国等 人口10万人当たりの各種犯罪認知件数



*ベルギー、オランダ、フランスについては2022年、日本については2023年の値
(出典: Eurostat及び令和6年警察白書)

- ■ 強盗は周辺諸国を含めても多発している状況。
路上強盗は特に注意すべき犯罪。
- ■ 窃盗の発生水準は日本の約3倍以上で邦人被害も多数。

ベルギーと日本との比較



人口 11,763,650人

面積 30,528km²

警察官 40,693人

123,975,000人

378,000km²

259,595人

※出典: STATBEL(2024年)、ベルギー連邦警察HP、外務省HP、
総務省HP、令和6年警察白書

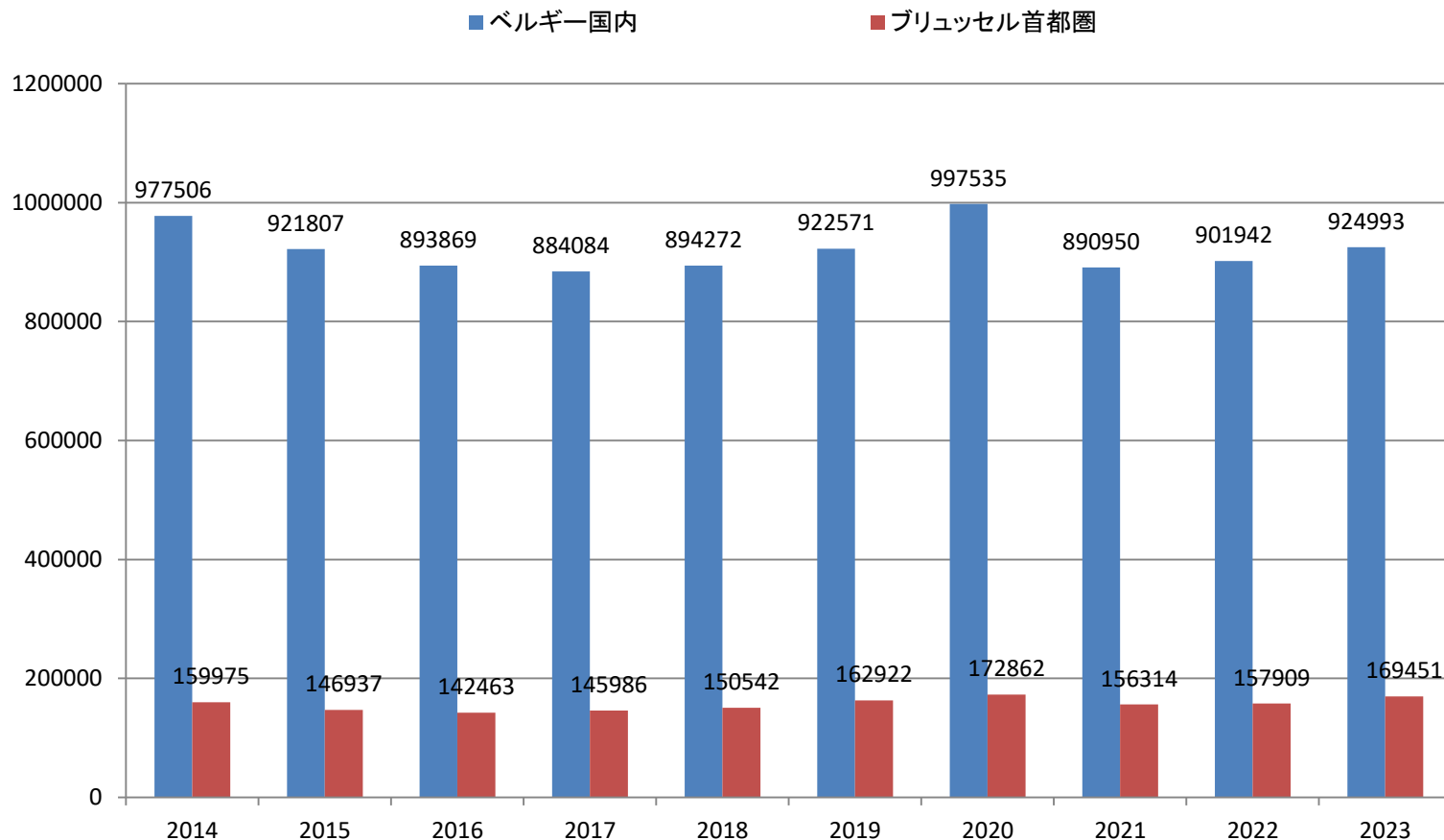
ベルギー警察について

- ベルギー警察は「連邦警察」と「地元警察」に区分される。
- すり、ひったくり、空き巣等の事件は、地元警察が捜査する。
- 殺人、誘拐、カージャック事件など、重大または複数の警察区域にまたがる事件は、連邦警察が捜査する。
- 事件の被害にあったら「101番」又は「112番」

112番 ～ 欧州域内共通の警察通報番号

ベルギー国内及びブリュッセル首都圏 犯罪認知件数

※出典:ベルギー連邦警察HP



○ ベルギーの犯罪認知件数は若干の上下があるものの、おおむね横ばい。

注意すべき犯罪：ベルギーでの発生状況 **2023年**

※注意すべき犯罪：発生件数が上位のもののほか、万一被害に遭った場合、被害回復が困難で精神的にも大きな打撃を受ける強盗を抽出。

ベルギー国内

犯罪認知件数	924, 993
侵入盗	48, 848
車上ねらい	41, 878
すり	27, 537
強盗	17, 366

日本国内

703, 351	* 刑法犯認知件数
44, 228	
39, 244	* 車上ねらい、部品ねらいを合算
15, 004	* すり、置引き、仮睡者ねらいを合算
1, 361	* 凶器の有無は区別なし

ブリュッセル首都圏内

犯罪認知件数	169, 451
すり	17, 298
車上ねらい	16, 504
侵入盗	9, 231
強盗	6, 735

東京都内

89, 098	* 刑法犯認知件数
3, 101	* 車上ねらい、部品ねらいを合算
2, 794	* すり、置引き、仮睡者ねらいを合算
2, 147	
235	* 凶器の有無は区別なし

※出典：ベルギー連邦警察HP、警察庁HP、警視庁HP、令和6年警察白書

※出典:ベルギー連邦警察HP(2023年)

すり

~首都圏内認知件数第1位

ブリュッセル

8,037件

(前年比+1,663件)

W.S.ランベール

158件

サン・ジル

2,516件

(前年比+726件)

W.S.ピエール

100件

アンデルレヒト

951件

オーデルゲム

116件

ユックル

235件

イクセル

1,622件

(前年比+70件)

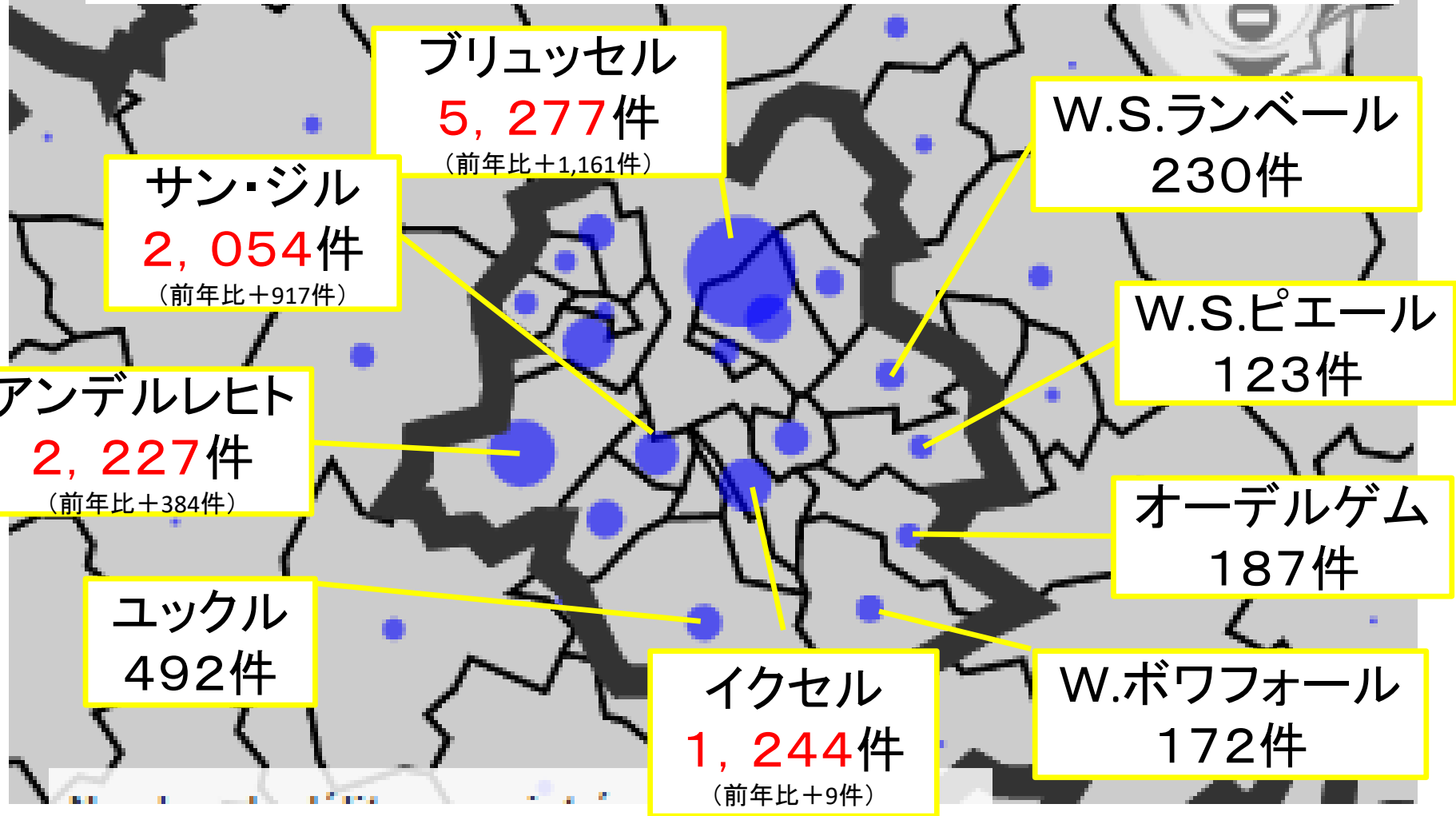
W.ボワフォール

28件

- ブリュッセル地区、サン・ジル地区で急増。
- 貴重品は大きな荷物の中には入れず、バッグのチャックは締めて体の前で携帯する。
- 店内や人混みでは要注意。夜間の一人歩きは避け、人や車の往来が多い道を選ぶ。

※出典:ベルギー連邦警察HP(2023年)

車上ねらい ~首都圏内認知件数第2位



- ブリュッセル地区、サン・ジル地区、アンデルレヒト地区で急増。
- たとえ短時間でも駐車車両の中には、貴重品を絶対に放置しない。
- 夜間に路上駐車はせず、昼間でも人気のない裏路地での駐車は避ける。

侵入盗

※出典:ベルギー連邦警察HP(2023年)
~首都圏内認知件数第3位

ブリュッセル

1,991件

(前年比+107件)

W.S.ランベール

385件

サン・ジル

440件

W.S.ピエール

356件

アンデルレヒト

674件

オーデルゲム

288件

ユックル

794件

イクセル

1,027件

(前年比-48件)

W.ボワフォール

237件

- ブリュッセル地区で増加傾向。
- 住居の選定に関しては、地域の選定に加え、物件の弱点を補うことが重要。
- 住居の安全のため、帰宅時は住居周辺の不審者・不審車両の存在をチェック。

ベルギー連邦警察HP掲載 統計資料

- 「police fédérale belgique statistiques」等で検索、「Accueil/Statistiques-police.be」にアクセス。
- 画面上部のタブ「Criminalité」を選択。
- 「Statistiques de faits criminels」(犯罪統計)のを選択。
- 地図データを伴う「Tableau」(グラフ)や「Carte」(地図)を選ぶと、居住地等の犯罪発生状況を確認できる。

外出時の留意事項

当局は犯罪やテロの抑止に全力を尽くしており、ベルギー国内及びブリュッセルは、他の欧州の国や都市と同等の安全が確保されているが、以下のような人が多く集まる場所では注意が必要。

- ・市場、ショッピング・モール
- ・公共交通機関（電車、バス、トラムの車内）
- ・観光地、コンサート会場、スポーツ競技場
- ・空港、駅 など

※具体的な注意事項については、当館HP掲載の「ようこそベルギーへ」をご覧ください。

<https://www.be.emb-japan.go.jp/document/yokoso2025.pdf>

ベルギーにおける警戒レベル

ベルギーに対するテロ等の脅威については、脅威度分析調整機関(OCAM)が、警察等の治安機関から報告された情報に基づいて分析・評価している。

- レベル1(わずか)

テロは発生し得ない又はテロの脅威が存在しない。

- レベル2(普通)

テロが発生する可能性は小さい。

- レベル3(重大)

テロの可能性があり、発生し得る。

※2023年10月16日に発生したスウェーデン・サッカーサポーター3名が死傷した事件以降ベルギー全土のテロ脅威度は3

- レベル4(とても重大)

非常に危険な状態であり、事態は切迫している。

最後に

- ・ 欧州は日本より、特に置引き、スリ、車上狙いなどのリスクは圧倒的高いです。
→基本的な防犯対策でリスクは軽減できます。
- ・ 欧州全体でテロの脅威が引き続き上昇しています。
→適切な警戒心、正確な情報の収集、冷静な行動が必要です。